

「つらい災害を力に」

日高小6年 中地 葵

私は、十月二十日に起こった台風23号では、但馬を中心に多くの雨が降り、但馬のあちこちの町に災害をおこらせた。

私は、その日普通の学校があったので、多く降る雨を心配しながら学に行った。でも、学校に行ったものはいいけれど、台風が接近して来ているということで風から、一斉下校で家に帰った。家に帰ったらテレビでこの

チャンネルも台風のことばかりだった。どこにいるかというやつを見つみると、もう、兵庫県が、うまっていたのでびっくりした。そして、夜お父さんは消防で城崎に出してしまつたので、お母さんと、妹と、弟とでいました。夜の雨と風の時の雨がぜんぜんちがったので心配した。でも、次の日は台風は去っていった。自分の家は、なにもとくに災害はなかったけれど豊岡や出石や日高町のあちこちがすごい思ってもいなかっただ災害が

おきていてびっくりしました。自分の家は、
災害にあってないけれど友達で災害にあっ
た人がボランティアでいろいろと助けてもら
たと言っていた。

十月二十日の授業では、災害にあっ
た人もあってない人も、力を合わせて
協力し合えばいいということだと思
うと共に、私もこれから友達や
いろいろな人がこまわっていたら
協力し合って助けてあげたい。